



# しあわせ

第113号

清水地区住民福祉協議会

山北町川西688

0465(77)2404



## 清水住民福祉からのお祝い

清水地区住民福祉協議会（会長・田正文）では、毎年行っている敬老表彰を、

## 人生の幾山河を乗り越えて

9月10日(土)にそれぞれのご家庭を訪問し、お祝いしました。

今年度は米寿(88歳)の方が8名、金婚(結婚50年)の方が1組いらつしやいます。

また今年度前半期(9月以前)は1名の出生があり、同じ日に訪問しました。

今年も新型コロナウイルス感染症を警戒して、昨年と同様に3名(会長・やすらぎ部長・広報)でお伺いすることとなりました。お忙しいなか時間を作っていただき、また感染防止対策にご理解をいただきました。ありがとうございます。

対策上、玄関先でと考えていた撮影ですが、記念の写真ということもあり、好きな場所で撮った方もいました。

みなさまが末永くご健康であることを心からお祈り申しあげます。

### ▼2・3面写真

※都合により写真がない方もおられます

## 表彰を受けられた皆様

(敬称略 順不同)

### 米寿(八十八歳)

大胡田 肇 (神縄)  
加藤 キミ (山市場)  
藪田 キヨ子 (嵐)  
矢吹 文子 (谷ケ)  
武尾 光枝 (谷ケ)  
佐藤 美和子 (谷ケ)  
武井 向子 (谷ケ)  
遠藤 八千代 (峰下)

### 金婚(結婚五十年)

加藤 英司  
久美子 (湯本平)

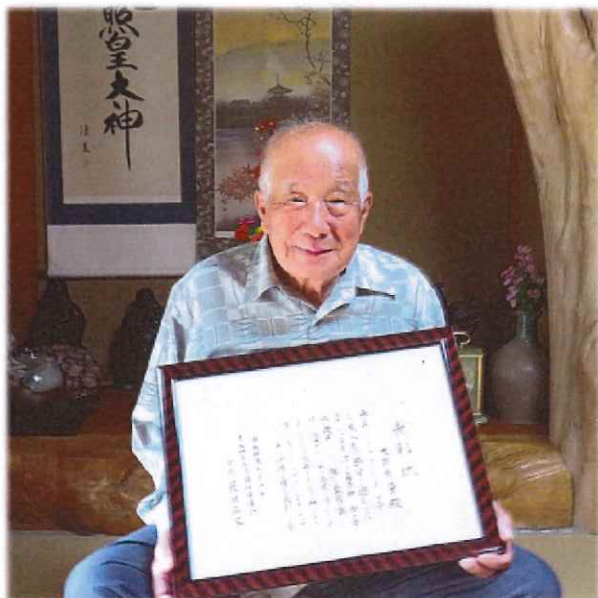
### 出生祝

山崎 航作 (宮原)  
〔寿文・美紗〕





大胡田肇さん(神縄)



# 米寿

地域の人がいるから  
ここまで来られた

表彰者のみなさん  
おめでとうございます

藪田キヨ子さん(嵐)



加藤キミさん(山市場)



矢吹文子さん(谷ヶ)



訪問することを事前に伝えてあるので、是非ここで写真を撮ってもらおうと準備していた方もいました。やはり、あらたまった場だから自慢の床の間で、という方も多いようです。

とある太公望は、ずっと昔からやっている釣りの成果を誇らしげに語ってくれました。様々な大会のトロフィーや賞状、大きな魚拓や魚の剥製も見せていただきました。まるで昨日のことのように語るエピソードはとても興味深く、またいきいきと語る表情はそれ以上に印象的でした。





佐藤美和子さん（谷ヶ）



武尾光枝さん（谷ヶ）



## 日々の楽しみ・生きがい を持つことが大事

脳トレの一環で、手先を使う縫い物をしているという方は、出来上がったいくつもの作品を見せてくれました。展示用のクリアケースに入れて飾ったり、人にあげたりすることが楽しみなんだそうです。

『近所の人がいけると気にかけてくれてね、だからひとりでも平気なんだよ』  
そう語ってくれた方がいました。  
人との付き合いや会話など、当たり前前のことが普通にできることが、しあわせに繋がるのかもしれない。

遠藤八千代さん（峰下）



## 金婚

ご夫婦が笑顔でお話しされる姿を見て、賞状にある「永い歳月を共に助け合いながら」という言葉をしみじみ感じました。ご本人たちは謙遜されるかもしれませんが、長年培われた阿吽の呼吸というものがあるように思います。

加藤英司さん  
久美子さん（湯本平）





## 出生祝い



はじめまして!  
健やかなるご成長を

清水地区の出生は少なくなっていますが、子育て支援センターなどでは同じような子育て世代に会えるので行くのが楽しいとのこと。  
また、近所を散歩している時にいろいろ声をかけてもらえるのもうれしいそうです。

こうさく  
山崎 航作 ちゃん(宮原)  
(父 寿文さん・母 美紗さん)  
第2子(男の子) 6月生まれ



11月19日(土)に秋の植栽を行いました。例年と同様に色とりどりのパンジーです。支所の花壇で作業していた時、神縄の尾崎さんが通りかかり手伝ってくれたので、思っていたよりも早く済みました。



←谷峨駅の花壇↑



↑支所の向かい花壇

## 秋の植栽

ちなみに谷峨駅にあるこの藤の木と藤棚、ベンチは、老朽化のため12月末に撤去することになったそうです。長い間親しまれていただけに寂しいですね。

## 清水地区・町 これからの主な行事予定

|        |     |                |
|--------|-----|----------------|
| 4月1日   | 下旬  | しあわせ114号 発行    |
| 3月22日  | 上旬  | 清水地区 お茶のみ会     |
| 3月18日  | 中旬  | 川村小学校 卒業式      |
| 2月25日  | 8日  | 山北町社会福祉大会      |
| 2月8日   | 8日  | 二十歳を祝う会        |
| 1月6日   | 6日  | 消防出初式          |
| 1月5日   | 中旬  | 賀詞交歓会          |
| 10月10日 | 10日 | ライブ・イン・山北 2022 |
| 12月3日  | 3日  | 丹沢湖花火大会        |
|        |     | 人権講演会          |

## 編集後記

113号の「しあわせ」をお届けします。いよいよ世界最大のスポーツイベントが始まりました。W杯日本代表の初戦の勝利は、勇気を持って前へ進むことの大切さを教えてくれました。同時に、今までの歴史や経験を受けた上で、次の領域に入ったようにも、新しい原点が刻まれたようにも感じました。

不思議な巡り合わせというか、来年はうさぎ年です。これまで踏ん張ったり、蓄えたりしていた力で、ぴよんぴよんと飛躍して、新しい景色が広がる新時代への第一歩になるようにしたいものです。感想や寄稿をご希望の方は、広報部または清水支所までお寄せください。(申)

